

# 同志社大学

## 2014年度 個人研究費研究経過・成果報告書

2015年 3月18日提出

所 属	職 名	氏 名
社会学部	助教	森口弘美
研 究 題 目	ケアする人を支える制度的、文化的なシステムについての研究	
研 究 成 果 の 概 要	<p><b>「ケアする家族」に関する研究</b> 2014年度は、2013年度に実施した調査結果を質的データ分析によってまとめた。 【発表論文】 ・「知的障害者の『親元からの自立』を促進する支援のあり方—家族へのインタビューの質的データ分析をとおして—」『同志社社会福祉学』28号 2014.12. (査読あり) 【活動紹介】 ・「The project of Caring for caregivers (ケアする人のケアプロジェクトの紹介)」フィンランド・日本交流京都セミナー (於京都ゆうゆうの里) 2014.11.27.</p> <p><b>「ケアを担う専門職」に関する研究</b> 「死を視野に入れた援助実践」に関する知見を深めるため、入居者の看取りに取り組んでいる知的障害者施設と高齢者施設を視察した。今後、視察を行ったフィールドの協力を得て演習等の教育で使える動画の教材制作をするべく計画を進めている。また、同様の視点を学ぶ研修の試みとして、有料老人ホームの職員を対象とした勉強会を行った。 【研修】 ・「ケアする人のケア」を学ぶ勉強会：介護付有料老人ホーム京都〈ゆうゆうの里〉にて ①「ステキなケアのエピソードを語ろう」2015.2.19. ②「喪失をめぐる学びを分かち合おう」2015.3.3.</p> <p><b>その他</b> 同志社大学社会福祉教育・研究支援センターにおいて進めている「社会福祉教育・研究における『エピソード記述』の展開」プロジェクトに関連して方法論の検討を行うとともに、実習教育における援用を試みた。 【口頭発表】 ・「社会福祉領域における『エピソード記述』の援用可能性について(その2)—研究方法としての可能性」(ポスター発表) 日本社会福祉学会第62回秋季大会 (於早稲田大学) 2014.11.30. 【発表論文】(寄稿予定) 研究ノート「社会福祉におけるエピソード記述の援用可能性—社会福祉援助実習の事後学習におけるエピソード記述の試みをとおして」評論・社会科学に寄稿するべく準備中</p>	